

校長室だより第 27 号（令和 7 年 10 月 7 日）

6 年生修学旅行の続き

10 時半ころ最初の目的地の日光木彫りの里に到着しました。千葉では快晴だったのですが、日光はどんよりと曇っていてバスを降りると肌寒かったです。

日光木彫りの里では、木皿に描かれたデザインを基に日光ゆかりのキャラクター（眠り猫 三猿 日光仮面など）を安全な彫刻刀を用いて彫りました。多少ざわついていましたが、ここでも掘り始めるとシーンとなりみんな集中していました。「さすが小倉小学校の 6 年生！」と再度つぶやきました。もちろん、集中力が途切れた後半はざわざわしていましたが、それは子どもらしさということで。

昼食後は日光東照宮へ。記念写真を撮った後、グループ活動です。三猿、眠り猫、陽明門などを見学しました。奥宮拝殿までの階段が長く、運動不足の私にはきつかったです。時折パラパラと小雨が降ってきましたが、見学には支障がありませんでした。グループ活動なのにバラバラになってしまったり、見学よりもお土産を買うことに興味が行ってしまったりしましたが無事に見学は終了しました。家族に向けてお土産を買う子が多く、小倉小の子どもたちの優しさを感じました。

ホテルには 16 時半ごろ到着。移動教室や農山村留学と違い、ホテルはベッドメイキング（シーツ等をセルフで敷くこと）の必要がなく、すぐに子どもたちは寛いでいました。

夕食は大広間に通され、用意されたご馳走をいただきました。ここもセルフではなく給仕してくださる方が大勢いて、至れり尽くせりでした。

お風呂に入り、各部屋で思い思いに過ごしました。リーダー会議や健康観察を済ませるともう就寝時刻です。消灯とはなりましたが、すぐには眠れず 11 時ころまでは子どもたちの話し声が聞こえてきました。それも徐々に静かになり…。

次の日。夜間に具合が悪くなる子も出ずホッとしました。もう帰るので朝から荷物の整理

と部屋の整頓でした。1泊2日は忙しい。

用意された朝食を済ませ、ホテルに別れを告げ、バスに乗り込みました。

最初に目的地は足尾銅山。当初の計画では戦場ヶ原を散策する予定でしたが、熊が出没するというので2週間前に場所の変更をしました。

トラックに乗って銅山に入り、ひんやりとした坑道を歩きました。掘り進められた坑道は足尾銅山内をアリの巣のように広がっており、その総延長は約1200 kmになるそうです。ちなみに1200 kmは東京から博多までと同距離です。

坑道の中には江戸時代からの採掘の様子が再現されており興味を引きました。

つづく